

室戸市の地域医療充実を求める請願書

【要旨】

1. 室戸病院の再開
2. 医療体制の充実

【理由】

平成 30 年 1 月 31 日、元地区にある室戸病院が閉鎖となりました。私たち地元住民をはじめ、多くの室戸市民が長年利用してきた室戸病院の閉鎖は、私たち市民に大きな衝撃を与え、今後、さらなる高齢化社会を迎えるにあたって、どのようにして健康を守るのか不安が募るばかりですので、室戸病院の再開を強く望むものであります。

室戸市の医療機関の現状をみますと、医師の年齢も高齢化が進み、数年先には、室戸市内の医療機関がさらに閉鎖されることが懸念されます。このままでは、地域住民の命と健康を守る医療機関が減少し、ますます室戸市の人口減少にも拍車をかけることが予想されます。

このことから、救急医療、夜間診療、専門外来の充実、医師・看護師の確保など、室戸市・室戸市議会が一体となり高知県・医師会の協力のもと、市民の皆さまが安心して暮らせるための、市民が必要とする医療を適切に提供していく地域医療体制の充実を求めます。

また、室戸病院が閉鎖するにあたって、別紙のとおり室戸市長殿に対して「室戸病院の存続を求める請願署名」を募ったところ、3,063 名の賛同を得て、平成 30 年 2 月 13 日に市長殿に署名を提出したところであります。多くの市民をはじめ、室戸市内に家族をもつ人々が室戸病院の再開を望んでいます。

つきましては、室戸市議会におきまして、特別委員会の設置等により、上記の事項の実現に向けて取り組んでいただきますようお願いいたします。

室戸の地域医療充実を求める会